

1. なぜJETは優位性があるか

JET(Junior English Test)は日本だけでの開催ではなく世界的に開催されつつあるテストです。

アメリカのテスト研究機関 IMETで作られています。

お隣の国、韓国ではすでに年間12万人が受験しています。

グローバル人材の育成を目指す教育を行うためには、指標となるテストは、やはりグローバルで実施されているテストを採用して、各国との比較を行い、達成度をはかるのが一番と考えます。そして、TOEICを目指す上において、小さいころから、同じ思想のもとに開発されたJETを受けることが、コミュニケーション英語能力の上達度の評価に最適であり、またTOEICをシームレスに受けることができるテストであり、JETを採用いただくのが早道と考えています。

2. JETがなぜTOEICにつながるテストか

コミュニケーション英語では60スキルを学びます。そしてそのスキルをTOEIC、JETが何を評価するテストであるか示してあります。

このことで、JETがTOEICにつながるテストだとお分かりいただけるはずです。

	Listening	リスニング	一般英語	TOEIC	TOEFL	JET
1	Taking Notes	ノートをとる	○	●	○	
2	Recognizing Facial Expressions & Gesture	表情とジェスチャーを認識する	○	●		●
3	Recognizing Sound	音を認識する	○	●	○	●
4	Recognizing Keywords	キーワードを認識する	○	●	○	●
5	Identifying Nonverbal Cues	非言語的な合図を特定する	○	●		●
6	Recognizing Main Ideas	主旨を認識する	○	●		●
7	Identifying Supporting Details	詳細説明を確認する	○	●	○	
8	Recognizing Stress, Rhythm, Intonation	強弱、リズム、イントネーションを認識する	○	●		●
9	Recognizing Colloquialism	口語表現を認識する	○	●	○	●
10	Recognizing Reduced Forms	弱音化した音を認識する	○		○	
11	Distinguishing Literal & Implied Meanings	文字通りの意味と裏の意味を区別する	○			



JET

Junior English Test

	Speaking	スピーキング	一般英語	TOEIC	TOEFL	JET
12	Providing Information	情報を提供する	○	●	○	●
13	Providing Appropriate Feedback	適切なフィードバックをする	○			●
14	Emphasizing Keywords	キーワードを強調する	○			
15	Expressing Opinions & Preferences	意見や好みを述べる	○	●	○	●
16	Making Requests	頼み事をする	○	●	○	
17	Describing Processes	過程を説明する	○	●	○	●
18	Using Nonverbal Expressions	非言語的表現を用いる	○	●		
19	Rephrasing	言い換える	○	●	○	
20	Keeping the Message Clear & Concise	明確で簡潔なメッセージを伝える	○	●	○	●

	Writing	ライティング	一般英語	TOEIC	TOEFL	JET
21	Brainstorming	ブレインストーミング	○			
22	Drafting	原稿を書く	○			
23	Generating Ideas	アイデアを生み出す	○			
24	Listing	リストをつくる	○			
25	Freewriting	自由英作文をする	○			
26	Paragraph Unity	段落をまとめる	○	●	○	●
27	Cohesion	結束性(文と文のつながり)	○	●	○	●
28	Variation	バリエーション	○	●		
29	Transition	接続語	○	●	○	●
30	Eliminating Wordiness	冗漫な(くどい)言い回しを除く	○	●	○	
31	Paragraphing	要約する	○	●	○	●
32	Rewriting	書き直す	○	●		
33	Proofreading	校正する	○	●	○	
34	Editing	編集する	○	●	○	

JET

Junior English Test

	Reading	リーディング	一般英語	TOEIC	TOEFL	JET
35	Scanning	スキヤニング(流し読み)	○			
36	Skimming	スキミング(ざっと読む)	○	●	○	●
37	Identifying Affixes & Root Words	単語の接頭語や接尾語や語源を特定する	○	●		
38	Identifying Synonyms & Antonyms	同義語と反意語を特定する	○	●	○	
39	Guessing Unfamiliar Words	なじみのない単語を推測する	○	●	○	●
40	Identifying Sequential Order	順番を特定する	○	●		●
41	Making Inferences	推測する	○	●	○	●
42	Drawing Conclusions	結論を引き出す	○	●	○	
43	Classifying Fact & Opinions	事実と見解を分類する	○	●		
44	Deducing Cause & Effects	原因と結果を推測する	○	●	○	
45	Comparing & Contrasting	比較、対比する	○	●		●
46	Identifying Problem & Solution	問題と解答を特定する	○	●		●
47	Detecting Paraphrasing	言い換えを認知する	○	●		
48	Identifying Main Idea & Details	主旨と詳細を特定する	○	●	○	●
49	Identifying Author's Purpose	著者の意図を特定する	○	●	○	●
50	Identifying Genre	ジャンルを特定する	○	●		
51	Summarizing	要約する	○	●	○	●
52	Understanding Figurative Language	比喩的な言葉(誇張した表現)を理解する	○	●	○	
53	Categorizing and Classifying	カテゴライズ、分類する	○	●		●
54	Making Predictions	予測をする	○	●	○	●
55	Creative Response	創造的な応答	○	●		
56	Following Directions	指示に従う	○	●	○	●
57	Understanding Text Structure	文章構造を理解する	○	●		●
58	Visualizing	具体的にイメージする	○	●		●
59	Developing Critical Thinking	批判的思考を展開する	○	●	○	
60	Making Connections	関連付ける	○	●	○	●

3. JETの設計思想

イクイティングという言葉をご存じでしょうか？

語学テストにおける「等化」と呼ばれるものです。

異なる時期に実施される試験では出題される問題が異なるので、どんなに慎重に作成しても、毎回の試験の難易度は多少変動してしまいます。そこでJETでは、「等化」という方法によって、異なる時期に実施された試験の結果を共通の尺度上の得点で表わして相互に比較できるようにしています。

これは下記のメリットがあるといわれています。

1. 試験の得点が試験の難易度の影響を受けないので、各級の合否判定や得点の基準が一定し、公平さが保たれる。

2. 異なる時期に実施された試験の得点が比較できるため、受検者が自分の英語能力の伸びを確認したり、次の学習目標を設定したりすることができる。

いままでの日本のテストは、欧米では「古典的テスト」と呼ばれています。

その点、TOEIC TOEFLなどは、この等化をIRT(項目応答理論)などのいろいろな手法で取り入れ、より正確にコミュニケーション英語能力をはかるテストとして、世界の共通の基準として広く用いられています。

同じように、JETは低年齢層のコミュニケーション英語能力を測定する上において、もっとも信頼おけるテストとして広まりつつあります。

* IRT(項目応答理論)とは

Item Response Theory 評価項目群への応答に基づいて、被験者の特性(認識能力、物理的能力、技術、知識、態度、人格特徴等)や、評価項目の難易度・識別力を測定するための試験理論である。

古典的なテスト理論(素点方式、偏差値方式)と比べると、IRTは、試験者が評価項目の信頼性の改善に役に立つ情報を提供し得る、標本(受験者)依存性・テスト依存性にとらわれずに不変的に受験者の能力値とテスト項目の難易度を求められる、という利点がある。

一般にTOEFLやTOEICのCATなどに利用されている。

ただし、年少児童の場合は、問題の標本の難易度が確定しづらいといわれており、JETではIRTは採用されていない。



Jet

Junior English Test

4. JETとCEFRの比較

下記がJETとCEFRとの比較です。

* Common European Framework of Reference for Languages の略で、日本語では、「言語に関するヨーロッパ共通参照枠」と言われています。

また、すべての言語における共通のレベル設定として、定着しつつあります。

JETの各級はCEFRに対応しています。

C2							
C1			900			1級	(想定)
B2			785	900		準1級	
B1		170	550	825		2級	高3
A2	1-2	134		735	準2級	高1	高2
	3-4						630
A1	5-6	92			3級 4級 5級	中1	中3
CEFR	JET	TB	TOEIC	TOEFL Jr.	STEP		学校教育
EU	IMET	ETS			英検協会		(文科省)